

将来のキャリアプランを描く

オリジナル設計 コミュニケーション力向上へ

オリジナル設計はこの
ほど、東京都渋谷区の国



研修会の参加者全員で記念撮影

立オリンピック記念青少年総合センターで、若手社員を対象にした研修会「OECブーストセミナー」を開いた。

全国の事務所、営業所から57人が参加。前半は「アサーティブコミュニケーション」をテーマに、多様な価値観の中で相手との違いを認識し、相手を尊重しながら効果的に自分の気持ちを伝える方法を学んだ。後半は、「キャリアデザイン」をテーマに、自分が目標とする姿を実現するために必要な考えを身に着けた。

北海道から九州まで、全国の社員が集まる研修会は4年に1度のペースで開催している。今回の研修会は、2014年と2018年の女性活躍推進研修「ウーマンスタッフカンファレンス」の後継企画で、対象は入社2～8年目までの技術系社員とした。上下水道を基軸としたコンサルティングを手がける同社では、全社員の4分の3が技術コンサルタントで、研修に参加

した若手社員は、水コンサルタント業界の将来を担う同じ世代の仲間であり、これから技術士の資格を目指して切磋琢磨するライバルでもある。

研修会は、外部講師を招いて5～6人のグループワークで進められた。前半のテーマの「アサーティブコミュニケーション」とは「自己尊重のコミュニケーション」であり、ビジネスの場において、相互の信頼をベースにした交渉のスキルを身に付けることが研修の目的。菅伸彦社長は、「今後、日本の社会は多様性が増していくことが予想されるため、社内外の様々な人と良質なコミュニケーションを取ることで、対人関係スキルに優れた企業人になって欲しい」と期待し、このテーマを選んだという。

最初に、グループのメンバーで自己紹介をした後、性格診断テストの「エゴグラム」を使って、自分が当てはまるタイプの長所や短所、対人関係で取りがちな行動パターンなどを知り、職場の同僚のタイプを見極める方法を学んだ。続いて、「アサーティブコミュニケーション」において効果的な「DESC法」を使い、グループ内で、上司に提言する事例と、同僚・後輩に協力依頼する事例について話し合った。

後半は、充実度をグラフ化する「ライフラインチャート」で自分のこれまでの人生における成功や挫折とその理由を振り返った。次に、キャリアを選択する時の判断基準となる「キャリア・アンカー」を知ることで、仕事人生における価値観やキャリア志向を分析し、最後に、自分が将来やりたい姿や目指すべき姿を描く「キャリアプランシート」を作成し、発表した。

術系の社員では、専門的知識の質や量、幅を期待されるため、習得に多大なエネルギーを要するがゆえに、社内や客先との意思疎通の場面で他者の主張と対立したり、相手の立場を十分に尊重できないケースが時に生じている。組織としての生産性と顧客満足度の両面を向上させるためには、自分の感情の状態を把握し、コントロールした上で、他人の気持ちを理解したり、寄り添ったりする対人関係能力と情報共有の徹底が重要だと考える。皆さんには、自分自身と周囲の状況を適切に把握し、対人関係を保つことを意識して、描いたキャリアを進んでいきたい」と話した。

研修を総括し、菅社長は「どの職種であれ、プロフェッショナルを名乗れる専門性を持ったエンジニア、コンサルタントになってもらいたい。技術系

同世代交流通じ 若手社員を育成

オリジナル設計
キャリアセミナー

オリジナル設計（OEC、菅伸彦社長）は7月20日、男女問わず若手社員間のつながりを深め、キャリアデザインを考えることを目的とした研修会「OEC Boost Seminar Enhancement your motivation」を都内で開催した。30歳未満の若手社員（新卒・中途）のうち、57人が全国から参加した。研修会では、外部講師を招いて、グループワークを中心にアサーティブコミュニケーションとキャリアデザインの研修を実施した。アサーティブ

コミュニケーションとは、「お互いの主張や立場を大切にしたい自己表現・自己主張」のこと。チーム内や上司への提案等事例別のロールプレイングを行い、コミュニケーション力を磨いた。

キャリアデザイン研修では、普段関わる機会の少ない他部署の社員同士でグループディスカッションを実施。社員らはこれまでのキャリアを振り返ることで自身や他者の



参加者で集合写真

価値観（キャリアアンカ）に触れ、改めて個々のキャリア目標を明確に意識する機会として伝え、ディスカッションを通じて、それぞれの目標実現へモチベーションを高めた。

菅社長は「日々の業務に掛かりきりになると、中長期的なキャリアデザイン形成への研さんが後回しになりがち。この研修を通して、学生時代から今までの人生を振り返り、現時点でのキャリアデザインを描いて、そこに向けてのタイムスケジュールを立ててほしい。ぜひ皆さんには、自身自身と周囲の状況を適切に把握し、対人関係を保つことを意識して描いたキャリアを歩んでいただければ」と期待を込めた。